

顧問就任にあたって（ごあいさつ）

NPO 法人神奈川県自然保護協会
理事長 藤 崎 英 輔.

370 万都市横浜に残された貴重な自然「ホタルのふるさと瀬上沢」をみんなで守ろうという皆さんの目頃からの真摯な取り組み、そのご労苦に対して心から敬意を表します。

このたび当協会の前理事長新堀豊彦が就任しておりました顧問の就任要請をいただき、理事会で協議の結果、協会としてお引き受けすることとしました。

瀬上沢の開発計画につきましては、当協会におきましても、理事間で昔から話題になっていた開発案件であり、取り組み状況は報告を受け、情報共有をしています。

ここの開発計画は、長い年月の経過があり（開発者の変更、横浜市の担当者の異動・方針の変化）現在に至っているところであり、時代が大きく変化しています。新しい時代に適合した土地利用が望まれるところです。（生物多様性・住宅需要の変化・人口の高年齢化）

横浜市の 24 年度の環境施策に、生物多様性の推進（つながりの森構想、生物多様性横浜行動計画）横浜みどりアップ計画が記述されていますが、どの程度の接点があるのか関心のあるところです。

県内の貴重な自然を守るための運動は、関係者（行政含む）間との話し合いにいずれも長い年月を要しています。（三浦・小網代の森、鎌倉・広町台峯、藤沢・川名、大和・泉の森緑地等）開発計画者、横浜市（関係組織）への定期的要請活動・情報収集の反復継続が望まれます。

多くの市民に運動のねらいを正しく理解していただくためには、マンネリに陥ることなく、たゆみない努力が必要となります。（反復継続）募金活動は、日本の社会では厳しいとの声もありますが、ナショナル・トラスト運動のモットー「1 人の 1 万ポンドより 1 万人の 1 ポンド」が参考になるのではないのでしょうか。

メンバーの皆さんの日頃の活動状況につきまして、会報・ホームページ・新聞情報等で承知しています。未来を生き抜く子や孫のため、生き物たちのためにもぜひ市民力を引き続き力強く活動を継続されることを心から期待しています。

私もこの運動の趣旨に賛同して、関係者や多くの市民に呼びかけをする等募金を含めて可能な限り協力させていただきます。